

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2023年7月25日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪市北区梅田2丁目5-25ハービスOSAKAオフィスタワー22階	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） グンゼ株式会社 代表取締役社長 佐口 敏康

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2015
適 用 範 囲	グンゼ(株)宮津工場
導 入 年 月 日	2001 年 07月 06 日
認 証 番 号	JQA-EM1658
基 本 方 針	衣料品の設計から製造に関わる事業活動、製品及びサービスの中で当社の強みを結集し、以下の方針に基づきマネジメントシステムの継続的改善及び、お客様の要求マネジメントシステムの継続的改善及び、お客様の要求する品質に適合する製品の提供と環境汚染の予防を図る。 1. 顧客又は 販売市場を満足させる項目に対し、技術性と経済性を考慮して目標設定し、必要に応じて見直す。 2. 環境影響が大きい項目に対し、技術性と経済性を考慮し目標設定し、必要に応じて見直す。 3. 関連する法規制及び、地域との協約、その他組織が同意する要求事項を順守する。 3. 関連する法規制及び、地域との協約、その他組織が同意する要求事項を順守する。 4. 活動方針を全構成員に周知し、取引先へも協力と理解を求めると共に必要に応じて公開する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	(1) CO2排出量を 3767(t-CO2)以下にする（21年度BM対98.0%） 改善量：原油換算22.2k l 以上（21年度BM対1.0%） (2) エネルギー使用量原単位を2019年度実績の1%減 (3) 廃水処理充実で着色度 30以下を維持する
目標を達成するための取組の内容	省エネルギー（電力） ・ 廃水フロア更新による省エネ ・ コンプレッサー台数制御見直し 省エネルギー（燃料） ・ 給水タンクオーバーフロードレン水の回収 ・ 貫流ボイラの休日運転台数削減
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー（電力） ・ 廃水フロア更新による省エネ 原油換算4.0kl改善 ・ コンプレッサー台数制御見直し 原油換算1.9kl改善 省エネルギー（燃料） ・ 給水タンクオーバーフロードレン水の回収 原油換算1.7kl改善 ・ 貫流ボイラの休日運転台数削減 原油換算6.8kl改善 等
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2022年度実績は4006t-CO2であった。上記などの取組推進により現単位は対前年99.2%に改善したが、生産量増加（対前年105.4%）の影響が大きく、排出量が増加した。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について毎月確認を行っている。 これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しについては、年に一度評価及び見直しを実施。 2021年度は、現行の目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから、2022年度も同一のシステムにより運用した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。